

コース番号：24-43-12-129-015

製造分野におけるDX推進

人材育成上の課題・目標

- ・製造現場で利用されているデジタル技術を知りたい
- ・製造で収集されるデータの活用方法について知りたい
- ・製造分野DXでどのような目指す姿があるか知りたい
- ・自社のDX進捗状況を知りたい
- ・自社に合ったデジタル化を図りたい
- ・製造現場でのDX推進の手順を知りたい



課題解決・目標達成を目指して

- ・製造現場での活用するデジタル技術（ICT、IoT）を理解する
- ・今後の課題解決のため、現状のDX進捗状況の測定方法を理解する
- ・各種装置から得たデータの活用方法と改善に向けた対応を理解する
- ・スマートファクトリ等の製造現場に向けたDXを理解する
- ・DX推進に向けた社内連携・体制の構築方法を理解する

コースのねらい

生産現場で用いられる各種製造装置や製造工程の監視・制御にICTやIoTなどのデジタル化を組み込むことにより、製品やサービス、ビジネスモデルの改革（DX）を推進して、生産性向上、ビジネス競争力を獲得する方法を理解する。

カリキュラム（例）

	基本項目	主な内容（例）
基本要素	■ 製造業におけるDXの理解	・スマートファクトリ ・スマートプロダクト ・スマートサービス ・自社現状のDX進捗状況
	■ DX実現事例	・スマートファクトリ実現事例 ・デジタル技術（ICT、IoT）の製造現場での活用と効果 ・データ収集・連携・活用方法
	■ DX推進の目標設定と解決策	・現状調査と課題の抽出 ・DX適用範囲の決定と目標設定 ・解決策の検討 ・DX化の設計
	■ DX推進の計画と実行	・生産活動の見える化と取得したデータを活用した改善 ・社内部門の連携 ・社外資源の活用と連携 ・人材の育成・確保
	演習（例）	・自社現状のDX進捗状況の把握 ・自社の具体的な取組領域（対象や目的、効果、扱うデータ、使用するデジタル技術） ・DX化の設計 ・DX推進に必要な課題の整理
	応用・実践要素（例）	・スマートプロダクトの実現方法 ・スマートサービスの実現方法

日程設定と受講料

1日（6時間）コース
3,300円（税込）

※金額は、1名あたりの受講料です。

推奨対象者

中堅層・管理者層

関連コース

- A 生産管理
- ・生産現場の問題解決
 - ・生産計画と工程管理
 - ・生産性向上のための課題とラインバランス
- A バックオフィス
- ・DXの推進
 - ・DXの導入
 - ・IT新技術による業務改善
 - ・データサイエンス入門
 - ・データ活用で進める業務連携
 - ・クラウドを活用した情報共有能力の拡充
 - ・IoT活用によるビジネス展開
 - ・ITツールを活用した業務改善
- B 組織マネジメント
- ・成果を上げる業務改善
 - ・DX人材育成の進め方

※訓練時間によっては、上記の全ての内容を実施できるものではありません。